

2 審議事項

(3) 神奈川県がん対策推進計画の 中間評価に向けた方向性について

- ① **第4期がん対策推進基本計画（国）
の中間評価における対応方針**
- ② **神奈川県がん対策推進計画の中間評価に向けた方向性**
 - (1) **ロジックモデルの見直しについて**
 - (2) **中間評価の対応方針**
 - (3) **今後のスケジュール**

① 第4期がん対策推進基本計画（国）の中間評価における対応方針

① メリハリのある分析・評価のためのコア指標の選定

令和7年度第1回
県がん対策推進審議会報告済

- 全ての指標を漫然と分析・評価するのではなく、**重要な指標に絞ってメリハリをつけて**分かりやすい分析・評価をする。具体的には、**「コア指標」**を予め選定し、「その他指標」は測定結果のみを提示し、進捗を把握する。

コア指標	指標としての質が高く、アウトカムへの影響も大きい指標 例) 年齢調整死亡率／罹患率、がん種別早期がん割合、検診受診率（国民生活基礎調査）等
その他指標	計画で提示された施策の進捗や効果を把握するために定める指標 コア指標の評価の際に、分析にも用いられる

② 都道府県ごとのがん対策の進捗状況の測定・公表と好事例の横展開の推進

- 都道府県ごとのがん対策の進捗状況を評価するため、**都道府県ごとにコア指標を可能な限り測定・公表**する。あわせて、**都道府県のがん対策が見える化**しながら、地域の実情に応じたより良い取り組みが横展開しやすくなるよう取り組みを進める。

① 第4期がん対策推進基本計画（国）

の中間評価における対応方針

② 神奈川県がん対策推進計画の中間評価に向けた方向性

(1) ロジックモデルの見直しについて

(2) 中間評価の対応

(3) 今後のスケジュール

② 神奈川県がん対策推進計画の中間評価に向けた方向性

(1) ロジックモデルの見直しについて

令和7年度第1回
県がん対策推進審議会報告済

- 現計画の中間評価までに、ロジックモデル及び指標の見直しを行う。
- 国及び各都道府県のロジックモデル等を参考にするとともに、県独自の施策も取り入れていく。
- 各指標の目標値を設定し、評価基準を定める。

② 神奈川県がん対策推進計画の中間評価に向けた方向性

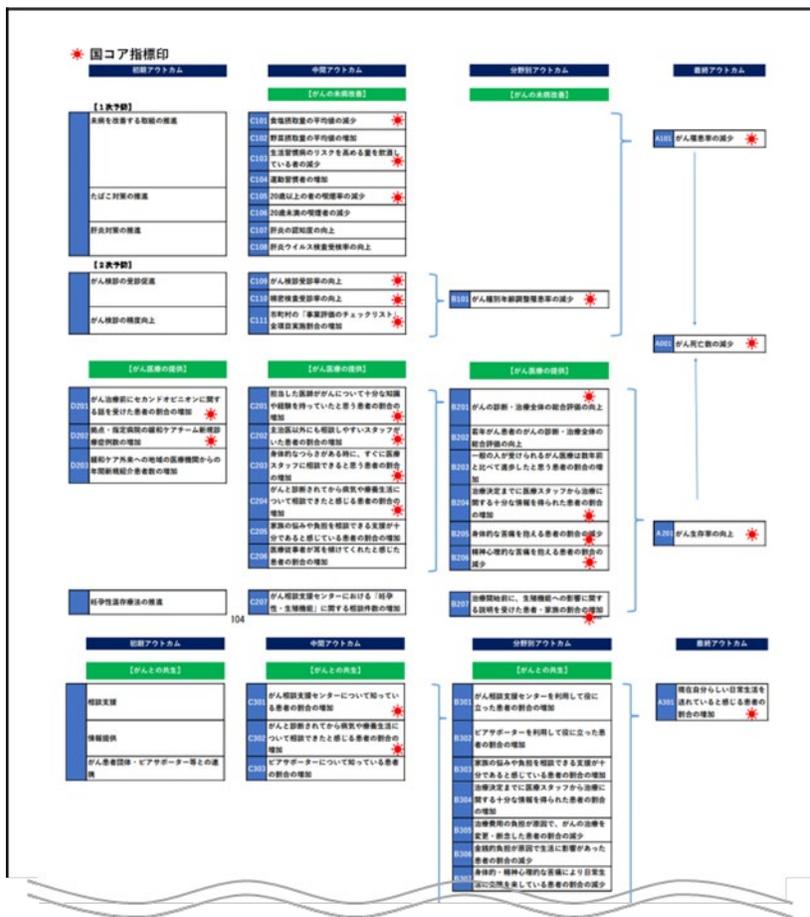
(2) 中間評価の対応方針

- 国がコア指標として設定している93指標の中で、
県のロジックモデルにも設定しているものは、**32指標（再掲含む）**（参考資料3）
県のロジックモデルに設定していないものは、**61指標（再掲含む）**（参考資料4）
※うち40指標は都道府県別の比較が可能
- ロジックモデルについては、**現行計画に基づき評価**し、その評価と合わせて、
上記**61指標のうち都道府県別で比較可能な40指標**について、県としても評価
対象とする。
- これにより、県内の取組状況を把握するとともに、都道府県間の比較を踏まえ
た、今後の施策改善につなげていく。
- 次期計画改定において、国のコア指標についてどのように位置づけるか、公表
データを踏まえ検討する。

神奈川県がん対策推進計画の中間評価に向けた方向性

現行計画ロジックモデルの 国コア指標設定状況

参考資料 3



評価対象とする 都道府県別で比較可能な40指標

参考資料 4 例示

3つの柱	指標名
全体	がん種別年齢調整死亡率(75歳未満、全年齢)
がんの未病改善	検診がん種別進行がん罹患率
がんの未病改善	受診勧奨実施市町村数(特別区を含む、以下同じ)
がん医療の提供	緩和ケア診療加算の算定回数
がん医療の提供	栄養サポートチーム加算の算定回数
がん医療の提供	多職種からなるAYA支援チームを設置している拠点病院等の割合
がんとの共生	がん相談支援センターでの自施設・他施設からの新規相談件数(全国の拠点病院等での総数)

② 神奈川県がん対策推進計画の中間評価に向けた方向性

(3) 今後のスケジュール

